

さいとう よしのぶ
齊藤 好信 議員



病院のさらなる経営改善の考えは

町長 終末期医療に重点を置き、41床は存続させる

災害時における避難所の感染防止対応について

質問 緊急事態宣言が解除

になったとはいえ、北海道内では感染拡大が収まっていません。専門家会議の中でも、第2波、第3波の感染拡大があるとの見解が有力です。秋から冬にかけて感染拡大が起きると危惧されています。災害対策として避難所における感染防止対応の対策も急ぐ必要があると考えますが見解を伺います。

町長 本町においては、台風シーズンと重なる秋から厳冬期にかけての災害リスクが高いと考えています。通常の災害時よりも可能な限り多くの避難所を開設することが重要であることから、既存の避難所であるスポーツセンター、小中学校のほか、ヨックル等の利用に向け協議を進めています。

また本年度より、地域防災マネージャーを配置してさらなる防災体制の向上を図っています。

再質問

自然災害が発生すれば、これまでとは全く異なる対応が必要になってきます。あらゆることを想定して手を打つことが大事です。避難所に五味温泉、結い森は考えていますか。

森林商工振興課長 結い森、五味温泉も含めて検討しています。

再質問

一般の避難所のほかに、福祉避難所の設置、備品として液体ミルクの購入を提案したが進捗状況はどうなっているでしょうか。

税務住民課長 関係課とも調整して、現在八ピネスを避難所として指定しました。液体ミルクについては購入します。トイレも感染防止

のため分ける必要があるの
で簡易的なトイレを検討し
ています。

病院経営計画の進捗について

質問

町民が住み慣れた地域で住み続けられる最も必要な環境というのは、適切な医療を受けられる医療提供体制が整っている事であり、町立下川病院の維持、存続は必要です。地域医療を確保するためには公的資金による一定の費用負担が生じることが理解しますが、さらなる経営改善の考えを伺います。

町長 町民が安心して生活できるよう継続した医療提供体制の構築に向け取り組みを進めてきていますが、将来の人口を見据えた経営改革プランを策定したいと考えています。一部急性期、そして回復期、さらには看

取りができる終末期、こういったところに重点的に経営を置いて、41床は存続できるように考えています。地域医療を支える病院として、医療サービスの向上に努めていきます。

再質問

町民の中には、病院が将来どうなるかという不安感が拭えないでいます。

町長

町立下川病院を存続させるために、一丸となつた取り組みとして今後進めていきたいと考えています。昨年11月の町民懇談会等で経営のあり方や、経営状況等を説明させていただきました。機会あるごとに場を設けて説明責任を果たしていきたいと考えています。そして、皆さまに協力いただきたいのは、町内で診療できる科目のところには町立下川病院を利用していただきたいというのが私の願いです。